

令和5年度事業報告

概要

原材料価格の高騰等の影響で消費者物価指数の上昇が続き、センターに対する個人や企業からの発注への影響が懸念される中、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、働きがいを見つけ、地域社会に一層の活力を生み出し、多様化する地域のニーズに応えるべく、新規会員の加入促進を図り、就業機会の確保や新たな就業先の開拓、また普及啓発等をおこなうとともに、安全・適正就業対策や調査研究等を実施することで、センター機能の強化に努めた。

① 受託事業・労働者派遣事業

受託事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた過去3年間に比べ、受注機会の減少には歯止めが掛かり、また請負に係る算定基礎単価の見直し等により、契約額は昨年度に比べ増加し、約890万円増の107.9%となっている。

一方で派遣事業は、就業延人員が人員確保等の関係で、昨年度に比べ約7%減少したものの、新規開拓による契約件数の増加や最低賃金の改定等により、契約額は約176万円減の98.0%となった。

② 調査研究

公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会等主催の各種研修会・講習会に参加し研鑽に努め、事業の推進・強化を図った。

③ 普及啓発

地域住民、事業所などに対しシルバー事業の活用並びに会員の加入促進を図るため普及啓発に努めた。

- ☆ 会報「第61号」「第62号」を発行し、関係機関、公民館などに配布
- ☆ カレンダー等啓発資材を配布
- ☆ ホームページ等での情報発信による普及啓発の実施
- ☆ 普及啓発月間（10月）に合わせ「銭形砂絵」内の除草ボランティア活動を実施
- ☆ 会員の作成した会員募集ポスターを支部、公民館、社協事務所等に掲示し、会員拡大とシルバー事業の啓発活動を実施

④ 安全・適正就業

安全就業については、会員とともに公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会主催の安全に関する研修会・教室等に参加し、安全意識の向上に努めるとともに、適時就業先を訪問し安全指導を実施、就業中及び就業途上の事故防止に配慮した。

適正就業については、「適正就業ガイドライン」を遵守すべく、発注者・会員に周知を図り、請負として適正でない契約については発注先に対し派遣契約への転換を依頼した。また、「共働・共助」の意識を高め、ワークシェアリングによる会員のローテーション化を一層進め、公平な就業機会の提供に努めた。

⑤ 会員の増強

年度当初の更新時に、加齢、体調等の理由により会員が多く退会したが、定期的な入会説明会を開催することで新たに32人が入会した。結果として昨年度末から1人の増加となり、新規入会者数が退会する会員の数を上回ることとなった。

今後も適切な就業あっせんや新たな就業先の開拓に努めること等により、会員の満足度アップを図り、加齢等身体的理由以外の退会者を減少させるための努力が必要である。

☆ 令和4年度末 341人 (当初退会) 29人
(入会) 32人 (途中退会) 2人 令和5年度末 342人

⑥ 諸会議の開催

当センターの維持運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催した。

☆ 定 時 総 会	令和 5年 6月 21日	開催	(限定開催)
☆ 第1回 理事会	令和 5年 5月 16日	開催	
☆ 第2回 理事会	令和 5年 6月 7日	開催	(書面決議)
☆ 第3回 理事会	令和 5年 6月 21日	開催	
☆ 第4回 理事会	令和 5年 11月 24日	開催	
☆ 第5回 理事会	令和 6年 3月 25日	開催	